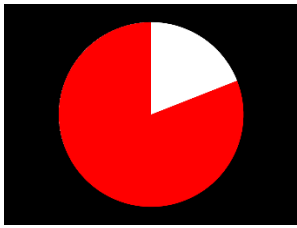


「パワポタイマー」

※ このマニュアルは、PowerPoint2013 で書かれています。



仕組みが複雑なため、最初にどんな風に作られているかイメージしてください。本物のタイムタイマーの仕組みを思い描いてもらえるとわかりやすいかと思いません。

2枚のスライドを作ります。



1枚目のスライドでは、一番下に赤白の円があり、その上に赤い半円が載っています。

赤白の円が回転しながら赤い半円の下に隠れていきます。

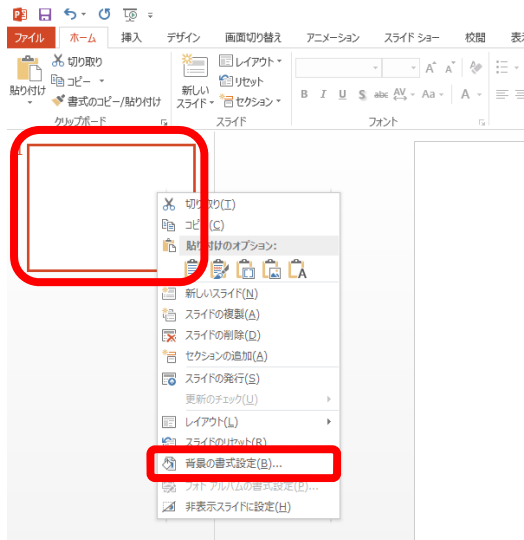


2枚目のスライドでは、白い半円が上にあり、その下に赤白の円が隠れていきます。

この2枚のスライドが連続することによって、赤い円が減っていくように見える仕組みです。

1		<p>「デザイン」→「スライドのサイズ」 →「標準（4：3）」をクリック。</p>
2		<p>「ホーム」→「レイアウト」→「白紙」をクリック。</p>

3



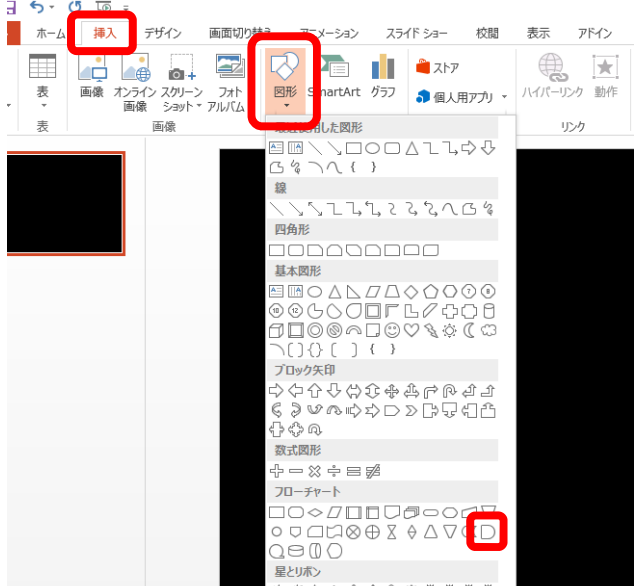
画面左側のスライドのサムネイルを右クリック。
「背景の書式設定」をクリック。

4



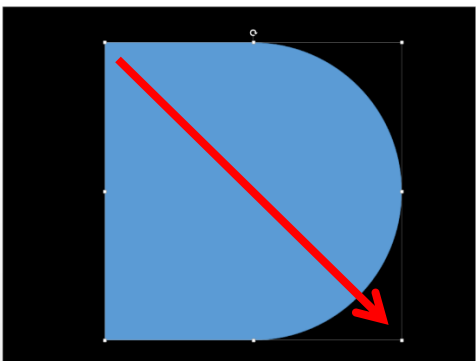
右側に「背景の書式設定」ウィンドウが開くので、「色」→「黒」。

5

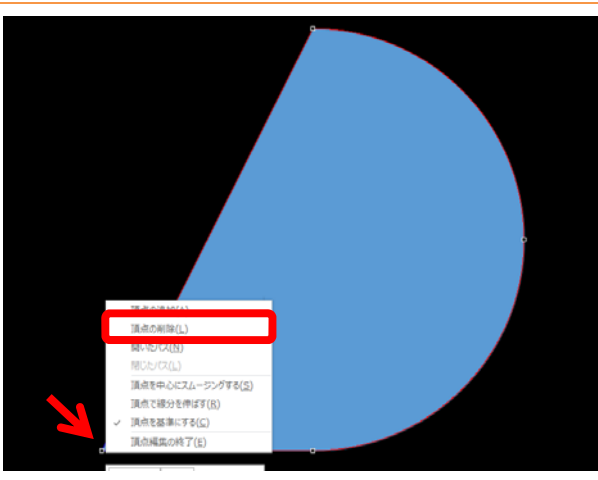
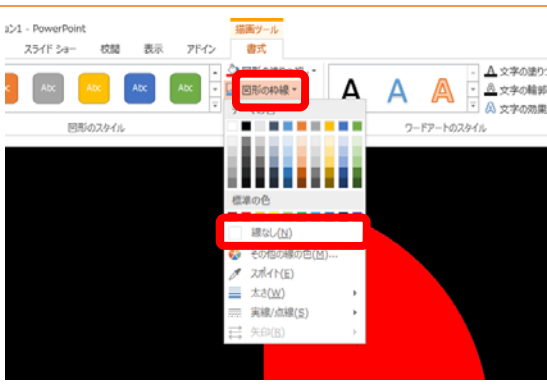


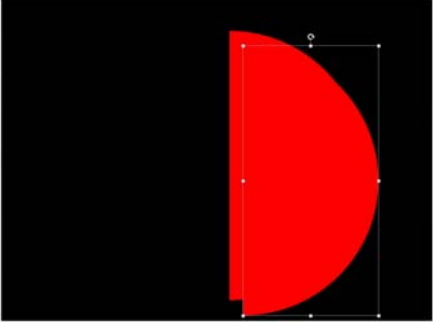
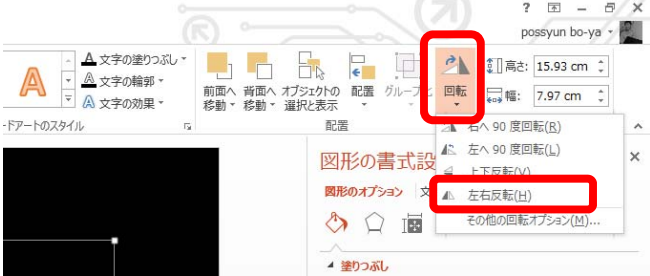
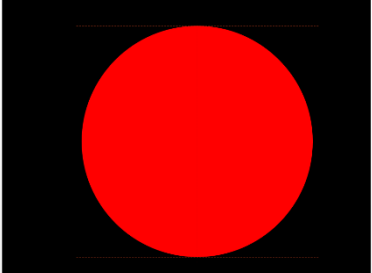
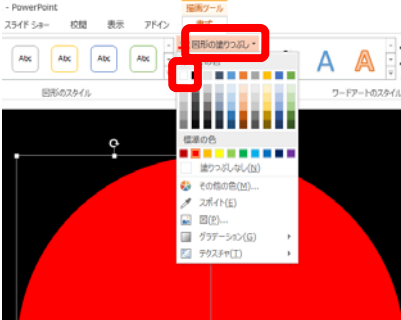
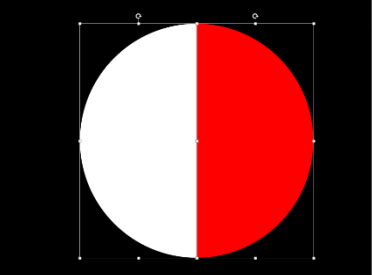

「挿入」→「図形」から「D」な形をした「フローチャート:論理積ゲート」を選択。

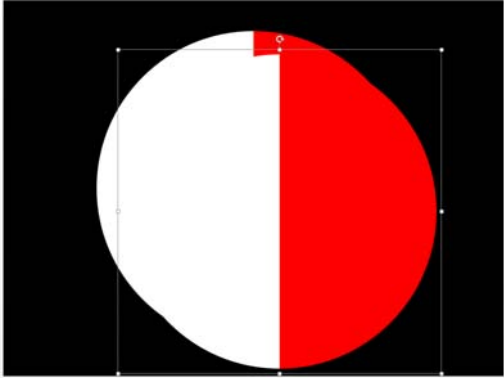

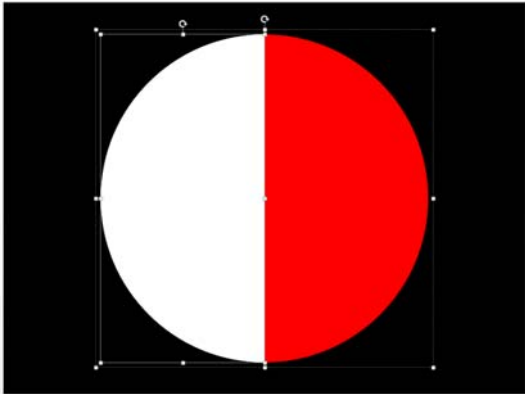
6


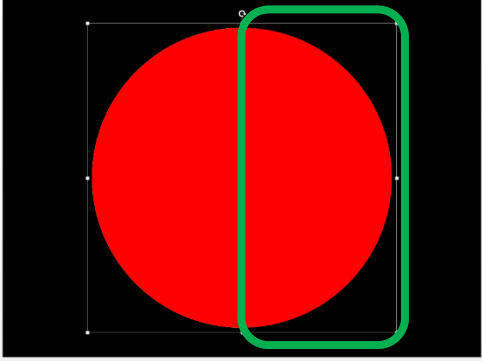





「Shift」キーを押しながら、図を適当な大きさに描きます。
※ 「Shift」キーを押さないと比率が崩れるためです。

7		<p>「図形の編集」→「頂点の編集」をクリック。</p>
8		<p>「D」の形の図の左上隅の点の上で右クリックして「頂点の削除」。</p>
9		<p>同じように左下隅の点の上で右クリックして「頂点の削除」。きちりした半円ができます。</p>
10		<p>「図形の塗りつぶし」から「赤」を選択。</p>
11		<p>「図形の枠線」から「線なし」を選択。</p>

12		<p>「Ctrl」 + 「D」 キーで半円を複製。</p>
13		<p>「回転」→「左右反転」で、複製した半円を反転させます。</p>
14		<p>反転させた半円を最初の半円にくっつけるように移動させて円を作ります。くっつける時は、点線で十字が出る場所に持っていきズレがないようにします。</p>
15		<p>「図形の塗りつぶし」→「白」を選択。</p>
16		<p>「Shift」キーを押しながら赤い半円も選択。(赤と白の半円とも選択された状態)</p> <p>「Ctrl」 + 「G」 でグループ化。</p>
17		<p>「配置」→「左右中央揃え」。</p> <p>続いて「配置」→「上下中央揃え」。</p>

18		<p>「Ctrl」 + 「D」 キーで赤白の円を複製。</p>
19		<p>「配置」 → 「左右中央揃え」。 続いて「配置」 → 「上下中央揃え」。</p>
20		<p>グループ化されている円の左側の白い円をクリックして、白い円だけを選択します。</p>
21		<p>「図形の塗りつぶし」 → 「赤」。</p>
22		<p>今度は、右側の赤い円だけを選択。</p>

23		<p>「図形の塗りつぶし」→「塗りつぶしなし」。</p>
24		<p>円の右側をクリックします。 上の円は片側塗りつぶしがないため、下の赤白の円が選択されます。</p>
25		<p>「アニメーション」→「アニメーションウィンドウ」をクリック。</p>
26		<p>右側に「アニメーションウィンドウ」が開きます。 「図の書式設定」は邪魔なので、「×」で閉じましょう。</p>
27		<p>「アニメーションの追加」から強調の「スピン」を選択。</p>

28



「効果のオプション」から「1 / 2回転」を選択。

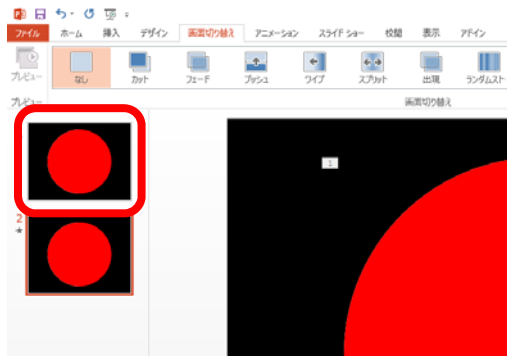
29



「画面切り替え」をクリック。

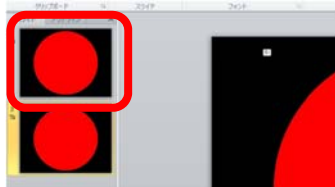
「クリック時」のチェックを外し、「自動的に切り替え」にチェック。

30



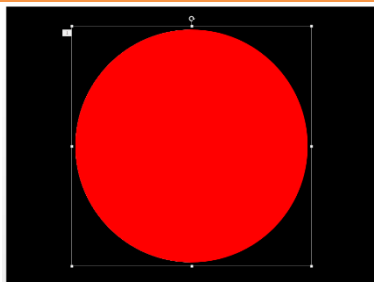
画面左側のサムネイルをクリックし、「Ctrl」+「D」キーで1枚目のスライドを複製。

31


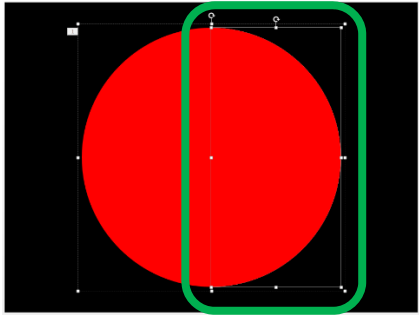
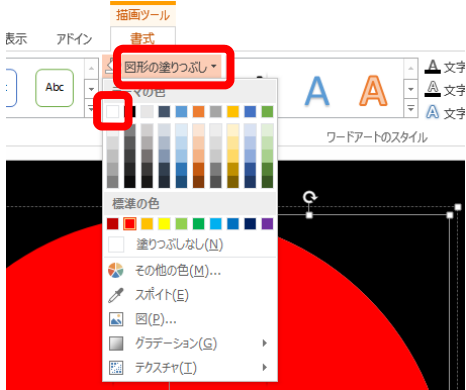
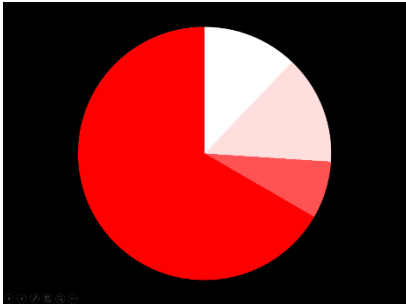



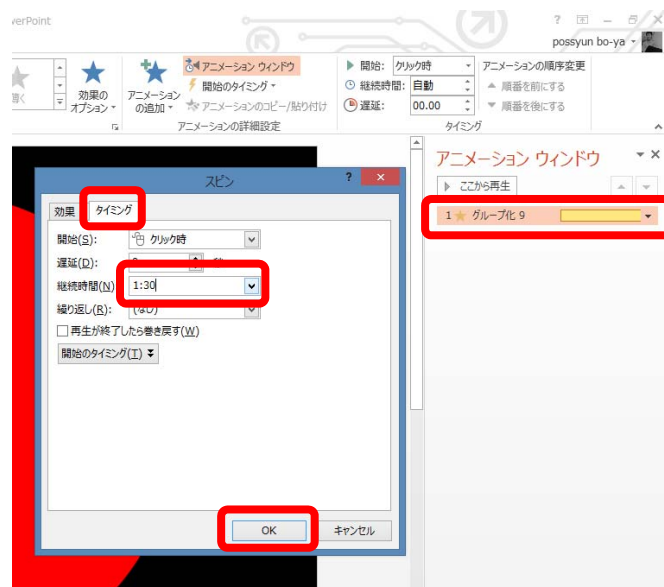
画面左側のスライドを選択して「Ctrl」+「D」で複製。

32



2枚目のスライドの赤い円をクリックし、「Ctrl」+「A」キー。重なってる円の両方が選択されます。

33		<p>「描画ツール」「書式」→「回転」→「左右反転」をクリック。</p>
34		<p>円の右側をクリック。</p>
35		<p>「図形の塗りつぶし」→「白」。</p>
36		<p>「F5」キーを押してスライドショーを見ましょう。 赤い円がタイムタイマーのように消えていけばOKです。</p>
37		<p>タイマーの時間の変更方法です。</p> <p>1枚目のスライドのサムネイルをクリック。</p> <p>「アニメーション」をクリック。</p>



「アニメーションウィンドウ」の「グループ化・・・」の項目をダブルクリック。
「タイミング」をクリックし、「継続時間」にタイマーに設定したい時間の半分の時間を入力します。ここでは3分タイマーを作るとして「1:30」と入力。

2枚目のスライドも同じようにアニメーションの継続時間を「1:30」にすれば、2枚のスライドを合わせて3分になります。

※ 継続時間は10分までしか設定できないので、合わせて20分までのタイマーです。